

SWOT 分析レポート：電子部品製造業

【S】 Strengths（強み）

- 技術蓄積：長年の製造ノウハウと加工精度、品質管理体制の信頼性が高い。
- 多様な顧客基盤：自動車、家電、通信、医療など幅広い分野との取引実績。
- 海外拠点の存在：ASEAN や中国などコスト競争力のある地域での生産体制。
- 設計・開発力：受託加工から設計・試作対応まで一貫対応が可能。
- 人材派遣・請負機能：繁閑に応じた柔軟なリソース活用が可能。

【W】 Weaknesses（弱み）

- 下請け構造：価格決定権が弱く、原価高騰時の転嫁が困難。
- 人材流動性の低さ：技能継承が属人的で、退職者によるノウハウ消失リスク。
- 情報セキュリティ体制の遅れ：中小製造業ではサイバー対策が後回しになりがち。
- ブランド力の不足：OEM 中心のビジネスで自社名が市場に浸透しにくい。
- デジタル化の遅れ：設備老朽化、IT 人材不足によりスマート化への対応が遅れている企業が多い。

【O】 Opportunities（機会）

- 脱炭素・GX トренд：環境対応型部品需要の拡大。
- EV 化の進展：車載電子部品の需要が爆発的に増加。
- 医療・介護・宇宙分野の拡大：精密・小型化部品ニーズの増大。
- 国家補助金・地域再生支援策：スマート工場化への補助金活用チャンス。
- 日本企業の調達見直し：「中国依存脱却」需要に伴う国内調達の回帰。

【T】 Threats（脅威）

- 地政学リスクの高まり：台湾有事などが即時的に部品供給を止める可能性。
- 為替変動：円安による原材料高騰が継続すれば体力のない企業から淘汰。
- 海外勢との価格競争：インド・ベトナム・中国系企業のコスト競争力が強大。
- サイバー攻撃：設計図や製造ノウハウの流出リスク。
- ESG・人権問題：海外拠点の労働環境がグローバル基準に達していない場合の企業イメージ毀損。